

# 探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算  
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

## 効果報告レポート

【事業者名】

株式会社朝日新聞社(幹事会社)  
株式会社Study Valley(構成員)

【サービス名称】

教育支援プログラム「国語4技能実践コース」(朝日新聞社)  
TimeTact (Study Valley)

【サービスの支援項目】

カテゴリ-1 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



### 朝日新聞デジタル版



### TimeTact

「探究」にフォーカスした  
社会と繋がる教育



課題の設定からまとめ・表現までのプロセスを一貫して支援するプラットフォーム「TimeTact」と、「国語四技能実践コース」をコンテンツとして組み合わせ、「思考の型 × 社会課題 × 表現」をワンストップで提供。

# TimeTact ×



- ・探究プロセスの一元管理
- ・生徒の自走支援／教員の授業設計支援



- ・社会と接続した「実在する課題」の提供記事
- ・社会テーマを活用した問いの質向上

# ■ 探究・校務改革支援サービスの概要

## 1. サービスの概要、特徴

**サービス概要:** 課題の設定からまとめ・表現までのプロセスを一貫して支援するプラットフォーム「TimeTact」と、「国語四技能実践コース」をコンテンツとして組み合わせ、「思考の型 × 社会課題 × 表現」をワンストップで提供。

### (1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等メリット

- ・実在する社会課題を起点に探究に取り組むことで、生徒の課題意識や学習意欲を高めます。
- ・探究の過程や成果がTimeTact上に蓄積されることで、継続的な学習や振り返りが可能となります。

### 類似サービスとの違い:

- ・新聞記事等の情報提供にとどまらず、探究の設計から調査・思考整理・表現までを一貫して支援できる点が特長です。
- ・学校と社会(メディア)をデジタル上で接続し、学習成果を蓄積・活用できる点において、従来型の教材提供サービスとは異なります。

### (2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果学習効果

- ・実在する社会課題に触れることで、問いの現実性・納得感が向上します。
- ・探究の過程がデータとして蓄積・可視化されるため、情報の信頼性を意識した深い思考や、表現力の向上が期待されます。

### 効率化・利便性:

- ・探究活動や成果物を一元管理できるため、教職員による進捗確認や指導・評価にかかる負担を軽減します。

### (3) サービスの活用場面

- ・「総合的な探究の時間」や国語科における探究・表現活動での活用
- ・朝日新聞社が提供する社会課題記事を起点とした探究プロジェクトの実施
- ・校内での学習成果の蓄積、および成果発表会等に向けた表現活動への活用

## (4) 1サービスあたりの標準販売価格

### TimeTact:

① 価格  
生徒1人あたり月1,000円(税抜)相当

② 含まれる機能  
探究計画・実施・成果管理  
AIフィードバック(一定クレジット)  
進捗管理(タグ)  
探究プログラム・企業PJ活用  
教員管理・確認機能  
企業プロジェクトの提供

③ 含まれない(別途費用)  
出張授業  
授業代行  
個別伴走・作業代行  
特別カスタマイズ  
オリジナルプログラムの提供

### 朝日新聞:

① 価格  
生徒1人あたり月1,000円(税抜)相当

② 含まれる機能  
新聞活用ワークショップ2コマ  
朝日新聞デジタル 生徒1名について1ID(実施期間)  
原稿添削  
オリジナル新聞作成

## 2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

**導入・初期設定サポート:** 朝日新聞社が提供する「国語四技能実践コース」の実施にあたり、TimeTactの初期設定および教材・ワークショップ活用に関する操作説明を行い、学校現場で円滑に取り組みを開始できるよう支援します。

**学習プログラム実施支援:** 新聞記事を活用したワークショップ(2コマ)や、朝日新聞デジタルの利用を通じた情報収集・調査活動が、探究学習として適切に進行するよう、実施内容や進め方について助言します。

**原稿作成・成果制作支援:** 生徒が調査内容をもとに原稿を作成し、オリジナル新聞の制作へとつなげる過程において、TimeTactを活用した記録・整理・提出の支援を行います。

**成果発表・まとめの伴走:** 制作したオリジナル新聞を成果物としてまとめ、探究活動の振り返りや成果共有につなげるための伴走支援を行います。

職員・生徒それぞれが探究学習を進める上で抱える課題に対し、探究プロセスを一元管理するTimeTactと、実在する社会課題を提供する朝日新聞社の協業により、探究の進行支援・学習方法の支援・社会との接続を同時に実現した。

### 児童生徒・教職員が抱える課題

#### 教職員の課題

- 答えのない課題を扱う探究学習に関する指導経験が不足している
- 年間計画や授業進行、学習状況の把握など、学習管理が煩雑で負担が大きい

#### 生徒の課題

- 情報を集めるだけで探究が終わってしまい、思考が深まりづらい
- 自分の考えをうまく表現できず、議論につながらない
- 調査や議論の記録が分散し、振り返りや整理がしづらい

#### 学校全体としての課題

- 教科書中心の学習では、実社会の課題を扱うことが難しい
- 「生きた社会課題」に触れる機会が不足している

### サービスが果たす役割

#### 業務負荷の低減

- 年間の探究計画や授業内容、進捗状況をツール上で一元管理可能
- 新聞記事を活用した探究授業も、構成・進行が整理され、指導負担を軽減

#### 学習方法の支援

- 実在する社会課題を起点に、情報収集・思考整理・表現までを一貫して実施
- 探究の過程や成果がデータとして蓄積され、生徒自身が振り返りやすい学習環境を構築

#### 社会との接続

- 朝日新聞社が提供する社会課題記事を活用し、「社会で今何が起きているのか」をリアルに体感
- 社会における答えのない問いに触れることで、学習の現実性・納得感を高める

## ■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

## サービスの活用風景・授業の流れ

## 国語四技能の実践

【国語四技能実践ワークショップ】  
新聞を通して、生徒自身が社会に関心を寄せるとともに、ワークショップやその後の授業等を通じて、「話す、聞く、書く、読む」をバランスよく鍛えます。「伝える」ことの重要性を学ぶワークショップです。

【朝日新聞デジタル版の活用】  
・生徒1人にIIDを提供。タブレットやパソコンからいつでも「正しい情報」に触れることができます。また、気になる記事は「スクラップ」し、調べ学習や探究活動にいかせます。  
・朝学習・授業などで「社会の今」を考えます。

【原稿添削】  
生徒や班でまとめた文章をプロの視点で添削します。「伝わる文章とは？」を学びます。

【オリジナル学校新聞の発行】  
学びの成果物として発行。

探究プラットフォーム  
TimeTactのシステム利用

【全教員でできる探究】  
対象学年の全教員がアクセスし、生徒の取り組みを管理可能です。探究学習のノウハウが不足した先生方でも探究学習の授業支援ツールとして円滑に活用できます。

【学びを深める各種機能】  
探究専用の生成AI機能「探究ロボ」で生徒の取り組みをガイドします。生徒はTimeTactに取り組み内容を蓄積し、サイクルを円滑に回せる様にシステムで支援しています。

【複数校の交流支援】  
複数校が参加するオンラインでの最終発表会をイベント設計しています。



## 学校に合わせたプログラムのご提供

- ・ 事前打ち合わせを実施。ワークショップの開催日時や内容を学校と一緒に決めていきます。
- ・ 各校の状況に合わせて、TimeTactの効果的な活用方法を組み込んだオリジナルのカリキュラム・教材をご提供させていただきます。

主に、以下の資料をご提供いたします。

1. カリキュラム設計
2. 探究プログラムの提供
3. スライド・動画資料の提供
4. 指導ガイド
5. TimeTactの操作資料

TimeTactにカリキュラム・教材をプリセットした形でご提供させていただきます。

## 活用サポート

- ・ 最終成果物である、オリジナル学校新聞発行まで、連絡を密に取り合いながら、丁寧に寄り添って進めていきます。
- ・ TimeTact上に蓄積された学習状況をふまえたうえで、TimeTactの使い方のご説明を丁寧にいたします。



本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	2	学校等教育機関数	2校
--------	---	----------	----

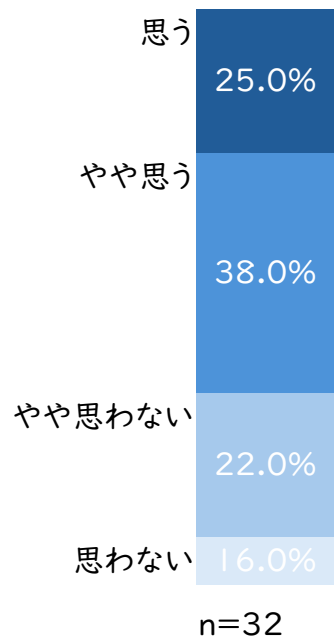
	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	学校法人静岡理工科大学	星陵中学校	静岡	中学校	2	「総合的な探究の時間」において、TimeTactを用いて「教育支援プログラム国語4技能実践コース」を実施
2	学校法人帝京大学	帝京ロンドン学園高等部	ロンドン	高等学校	1,2	「総合的な探究の時間」において、TimeTactを用いて「教育支援プログラム国語4技能実践コース」を実施

定量的効果検証

教職員の探究指導での目標達成の授業計画の充実に加え、業務負荷の低減にもつながっている

授業準備・実施などの業務負荷を低減

アンケート質問  
探究授業の準備、実施の業務負荷が導入前と比べて、減っていると思いますか？

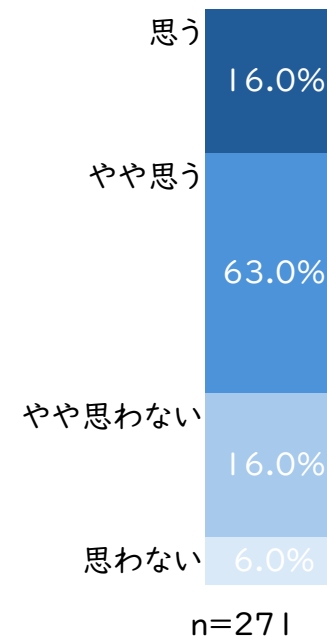


63.0%

- 導入校からのアンケート結果では、約60%の学校で、TimeTactサービスの導入によって、業務負荷の低減が図られた(低減に至らなかったプロダクト要因の解決策は後述)
- TimeTactで一元管理が可能となるため、授業準備が不要、学習状況把握が容易
- 授業内容は、TimeTact教職員ページで、今後の流れや授業の意図等が記載されているため学年全体への申し送りをスムーズに実施可能

生徒の探究活動の質向上に貢献

アンケート質問  
TimeTactは生徒の探究活動の質向上に役立っていると思いますか？



79.0%

- 導入校からのアンケート結果では、約80%の学校で、TimeTactは生徒の探究活動の質向上に貢献していた(充実に至らなかったプロダクト要因の解決策は後述)
- TimeTact(国語四技能実践コース)で現在社会にある課題を提供してもらった教材を使用することによって探究学習が深まる
- 出張授業(企業の発表会同席)・企業によるテキストフィードバックによって、高校生が直接企業の意見をもらえる機会によって、授業の質の向上

# 【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

## 定性的効果検証

### 学校（教員）の声

#### TimeTact（国語四技能実践コース）活用前

##### 課題

授業準備において

- ①担当する教員の仕事量が増える
- ②大半の教員は教科・クラス・部活動等で手一杯で、探究の時間にまで意識を回せない

##### その結果

学年会で探究の時間等を共有しても、いざ探究の時間になると何をするかわかっていない教員が多い

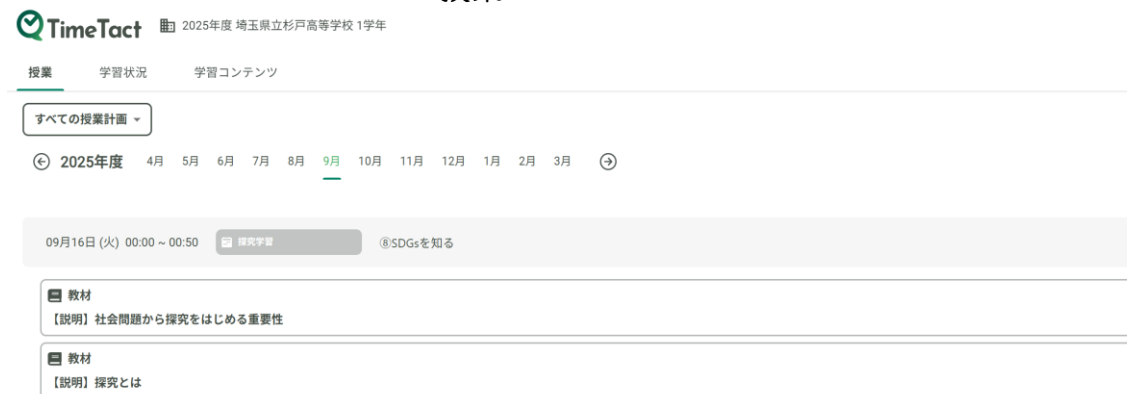
TimeTact（国語四技能実践コース）を使うと  
教員の仕事が減り、生徒が自走できる

#### TimeTact（国語四技能実践コース）活用後

##### 授業ナビの活用による解決

- ①授業毎にプログラムが設定され、ワンクリックで授業を実施できる
- ②教材や提出物なども個別に設定することができる
  - ・先生が授業前に教材の確認がしやすい
  - ・生徒が年間の流れや授業の流れを確認しやすい

<授業ナビ>



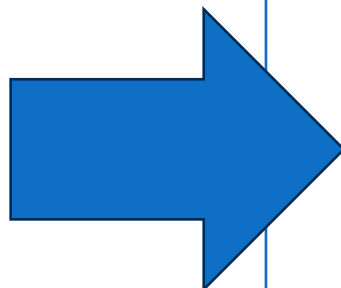
# 【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

## コンソーシアムを組むことによる相乗効果

### 単独では…

TimeTact単独では→  
探究の型・管理はできる

朝日新聞単独では→  
情報提供止まりになりがち



## 組み合わせた結果（相乗効果）

- ・実在する社会課題を起点とした探究が、TimeTact上にデータとして蓄積されることで、問いの現実性・納得感を保ったまま継続的な探究が可能となった
- ・信頼性の高い情報と生徒の思考過程が蓄積・可視化されることで、情報の信頼性が担保され、探究の深まりが向上
- ・過去の調査や思考の蓄積を踏まえた表現・議論が可能となり、アウトプットの質が向上
- ・経験を要する「新聞を活用した授業」が簡単に実施できるようになり、「社会の今」を伝える新聞が教材として継続的に扱えるようになった。



## ■ 探究・校務改革支援サービスを活用した児童・生徒・教職員等のコメント感想等

## 教職員



- ゲームを通して伝えることの難しさに気づくことができたり、朝日新聞の記事を使って記事の内容を深掘りしたりと、とても充実した時間を過ごすことができました。その後の国語の授業では、「国語4技能」を意識して取り組む姿勢が見られました。
- “TimeTactを使うことで、授業スライド作成や教員への説明が大幅に削減され、準備が非常に楽になったという実感がある。特に「次回何やるんだっけ?」という問い合わせへの対応が不要になった点を高く評価している”
- “生徒が自分で進捗を確認し、必要な教材・タスクがすぐわかるため、教員が個別に指示を出す負担が減った。探究活動が生徒主導で進むようになり、授業の質が安定した点にメリットを感じている”
- “TimeTactのおかげで、学年全体での探究の流れが見える化され、他教員との連携が取りやすくなった。特に「年間計画の見通しが立つ」点を教員は多く評価している”
- “教材・スチームライブラリ・ポスター機能などが揃っており、探究の指導案作成や教材研究の時間が削減できる点を高く評価している。「スライドを一から作らなくてよいのが助かる」という声があった”
- “ポスター機能やKJ法ができるAIリアルなど、グループワークの質を高める機能が便利という声があった。紙のワークではなくデジタルで完結するため、運営がスムーズになった点も高評価”

## 生徒



- SNSがとても身近にある今の私たちにとって、情報の判断をするのはとても重要なので、役立てられると思った。4技能は普段当たり前のようになっているので、日常会話でも意識をして話したい。
- 普段の国語の授業ではなかなか意識していなかった4技能「読む」「聞く」「書く」「話す」を伸ばすことを意識的に行えて、新鮮でした。少し難しいところも多々ありましたが、今回のワークショップを通して、父が新聞を読んでいる理由の一つがわかったような気がしました。
- **スキルが身についた**  
“課題研究の授業では、まだ明らかでない知識を自ら獲得する能力を身に付け、その楽しさを体験しました、思考力や探究心や、普通の授業ではまなべないようなことを学びました”
- “普段自分が何に興味を持っていて、どんな発見・発想があるのかなど改めて自分自身を知ることができる良い機会だったと思います。私は人前で話すことが苦手だけど、この授業を通していかに上手く伝えることができるかなどを学びました”
- **視野が広がった**  
“私は1年間で周りを見る力が成長したと思います、身近なことから社会的なことについての探求活動を行なったことで視野が広がり、いろんな課題が溢れているということに気がきました”
- “同じテーマでもチームによって、課題探究のゴールとしていることが違って興味深かった”
- “企業の方に聞いていただいたおかげで、自分の視点以外の観点からの物事の見方が知れたのが良かった”
- **探究意欲が高まった**  
“調査を実際に行うなど、もっと根拠を持って説明したいと思った”

# プロダクト利用説明、探究コンテンツ内容を改善していく

## 操作説明がわかりにくい

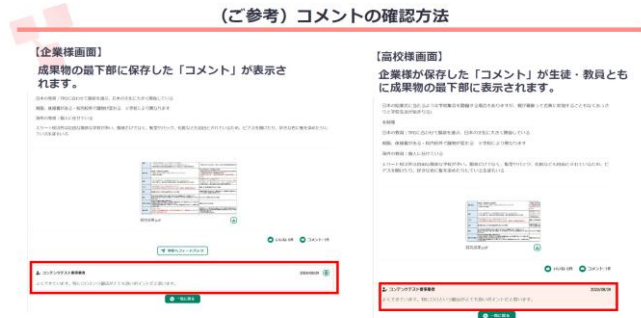
- ・提出物状況の確認の仕方
- ・調査記録の検索の仕方 など

## コンテンツをより取り組みやすくしてほしい

- ・プロジェクトの内容に情報がもっとあると良い
- ・難易度を生徒レベルにあわせて取り組みたい

- ・活用シーンに合わせて、頻繁に出るシーンをより細かくマニュアル整備
- ・CSチームと学校で接点を増やし、操作方法を丁寧に伝えられるよう運営

- ・テキストベースではイメージしづらい課題背景の共感を得るため、参考リンクの拡充
- ・取り組むコマ数をレベルに合わせて柔軟に増減させて、カリキュラム設計



下記の各問いに関して、どのように考えるべきかステップバイステップでまずは整理する必要があります。タスクブレイクをしてみましょう

- ・探究学習とは何か、生徒が取得すべき知識技能にはどのようなものがありますか？ 上記で学んだことや文科省の総合的な学習（探究）学習指導要領を参考に自分の言葉でまとめてください。  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/sougou/main14\\_a2.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm)

## ■会社概要

社名	株式会社朝日新聞社
代表	代表取締役社長 CEO 角田 克
設立年月	1879年(明治12年)1月25日
本社	東京本社 東京都中央区築地5-3-2
資本金等	6億5,000万円
売上高等	2780億6800万円(連結売上高)
従業員数	3,742人(男性2935人、女性807人) (2025年4月現在)
事業内容	新聞・デジタルメディアによるコンテンツ事業、展覧会などのイベント事業、不動産事業

## ■お問い合わせ窓口

社名:朝日新聞東京本社メディア事業本部アライアンス事業部  
 担当:先生コネクト編集部  
 電話:080-2479-7445 (担当:濱上)  
 Mail:taft@asahi.com

社名	株式会社Study Valley
代表	代表取締役 田中悠樹
設立年月	2020年1月23日
本社	東京都江戸川区中葛西5-20-14水戸ビル2F
資本金等	185,000,000円(資本準備金含む)
売上高等	非公開
従業員数	6名
事業内容	探究学習プラットフォームTimeTactの開発・運用

## ■お問い合わせ窓口

社名:株式会社Study Valley  
 担当:お問い合わせ窓口  
 電話:070-8522-0601  
 Mail:welcome@studyvalley.jp